

第8回 e-learning コンテンツ作成 WG 議事録（確定）

日 時 : 令和6年1月17日(水) 10:00~11:30
形 式 : ハイブリッド会議(現地+Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 1F C 会議室(ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. e-learning コンテンツ 進捗状況の確認

1)視聴による確認について

(株)カビネットより、e-learning コンテンツの進捗状況について説明があった。

第1章から第6章までの教材変換状況について確認いただいた。

補足として、第5章は、表紙を決定したこと。第6章はほぼ完成していることの説明があった。

主な意見の提示

- ・統一した記載についてはいかがか。
- ・オーサー、タイトル、ジャーナル、ボリュームナンバー、ページの発行日ぐらいはどうか。
- ・どの様に修正すればよいか指示をいただきたいがいかか。
- ・第3章は4頁のみ、第5章が全部で3頁について確認していただきたいがどうか。
- ・メールで連絡することよろしいか。
- ・順番を確認したいがいかか。
- ・クラウドに掲載してあるZIP ファイルを確認いただくことはいかか。
- ・本WGが作成する項目と教育コンテンツ作成WGが作成する項目の確認が行われた。

2)e-learning 教材の分割表示について

e-learning 教材として「総合的に患者・生活者をみる姿勢」と「情報・科学技術を活かす能力」の二つを制作途中であるが、分割の表示方法について、(株)カビネットより説明があった。

2023年度末までは、一つのアカウントで二つのe-learning 教材を視聴することができる。

次年度については、コース分けやアカウントの配布方法の課題があり、今後、どのようにするか等を検討することとなるとの補足説明があった。

3)e-learning 利用者アカウント管理方式の検討

(株)カビネットより、現在、各委員の先生方より提示いただいた資料を教材に加工しているが、2月中旬には完成できるのではと予想している。

○アカウントの配布について

資料に基づき、大学や関連団体に配布するアカウントは大学を含めた100団体に100アカウントずつ、合計10,000アカウントを配布する予定で準備している。

なお、アカウント名、ID、パスワードを予め作成する。できた Excel 等の情報を事務局に提示することの説明がなされた。

○受講サイト名について

資料に基づき、受講サイト名を検討いただきたいとの説明があった。現在は、委託事業費名を仮称として記載しているとのことであった。

○ドメイン名について

ドメイン名を検討いただきたいが、現在、WEB 上で使われていない名前として、資料のとおり二つの名称を提示させていただいた。ドメイン名については、今年度末までではなく、4 月以降も継続的に使用するドメイン名であること。また、セキュリティとして、SSL サーバ証明書の取得が必要となるので、決まったドメイン名で取得することが補足説明された。審議の結果、「e-pharm-edu.jp」が良いのではないかと、(株)カビネットに検討をお願いすることとなった。

○(株)カビネットより、今年度末までの対応として、本 WG で承認を得た e-learning 教材については、受講サイトのサーバが準備できればアップロードすること。また、e-learning 教材の内容等の修正やブラッシュアップについては対応する旨の提案があった。

契約している e-learning 教材の完成とは別であることの確認がなされた。

主な意見の提示

- ・ドメイン名は変えないですね！
- ・受講サイト名は後から変更も可能であるがいかがか。
- ・委託事業名を意識したサイト名を検討することが必要ではないか。
- ・文部科学省へも確認したいがどうか。
- ・ドメイン名は短めがよろしいのではないか。
- ・ドメイン名が決まれば環境の準備が整う。
- ・セキュリティだが、環境によってアクセスが難しいという状況はいかがか。
- ・現段階では無いと判断しているがよろしいか。
- ・教材のアップロードのタイミングや今後の作業のロードマップは確認できたがいかがか。
- ・1 団体 100 アカウント 100 団体で 10000 アカウントである。大学単位で配布であるが、これでは問題がある場合はいかがか。
- ・年度内で簡便な方法としての方法である。
- ・年度内であればこの方法がよろしいのではないか。
- ・次年度は今後を検討をしたい。
- ・関連団体でも確認いただきたいがどうか。
- ・今年度は閲覧のみを基本と考えているがいかがか。
- ・次年度以降の使用はいかがか。
- ・次年度以降の使用の方法は、授業に対応できるように速やかに検討を進めたいがいかがか。
- ・この受講サイト名は、検討させていただきたいがよろしいか。

- ・次年度の授業で使用する方向であるので、急ぎ検討をいただきたい。
- ・4月からの授業で使用するを考えているので、流動的な使用方法を検討いただきたいがどうか。
- ・協議会としては、本教材の使用には課金することで管理運営を図りたいがいかかが。
- ・大学への周知を検討いただきたいのでよろしくお願いいたします。
- ・アニメーションの切り替えについて確認いただきたい。
- ・申請の関係もあるが、2月中旬にはWGの先生方に e-learning 教材を完成させて確認いただけるように進めていきたいがよろしいか。
- ・少しでも早く各大学の目に触れることを期待しているがよろしいか。ロードマップは問題ないと思うがいかかが。
- ・今年度事業で完成した教材をリリースするという位置づけとしたいがどうか。

2. その他

1)報告書について、

この事業は、今年度終了の事業である。電子情報の提示をするで、冊子体の提出は不要であるがよろしいか。

2)医学教育学会作成のモデル・コア・カリキュラムについて（情報提供）

本事業は、医学、歯学、薬学で実施している事柄である。今回、情報提供の内容は、医学教育学会で作成しているコンテンツについてである。今後もブラッシュアップを図るようである。ご参考として確認いただきたい。

3)次回開催

第9回 e-learning コンテンツ作成 WG は、令和6年2月14日（水）10：00～12：00 予定

別記 1 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 8 回 (1 月 17 日開催)

構成員氏名	所 属	出欠席	備 考 欄
木下 淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野	現地	
今井 志乃ぶ	昭和大学薬学部門薬剤疫学部門	Web	
近藤 悠希	熊本大学大学院生命科学研究部 臨床薬理学分野	Web	
酒井 隆全	名城大学薬学部医薬品情報学研究室	Web	
出口 芳春	帝京大学薬学部薬物動態学研究室	Web	
原口 亨	公益社団法人日本薬剤師会	欠席	
細谷 治	日本赤十字社医療センター薬剤部	現地	
松野 純男	近畿大学薬学部医療薬学科	Web	
本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会	現地	
オブザーバー	文部科学省高等教育局医学教育課		
e-learning コンテンツ作成業者 ○株式会社ホサカ ○株式会社カビネット 現地参加			

別記 2 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 8 回（1 月 17 日開催）

<配付資料>

- e ラーニング利用者アカウント管理方式の検討（株）ホサカ、（株）カビネット）

<参考資料>

- 医学教育学会作成のモデル・コア・カリキュラムについて

<視聴内容>

- ①「総合的に患者・生活者をみる姿勢」と②「情報・科学技術を活かす能力」
の二つの e-learning 教材の分割表示について